



2025年3月21日

いのちのセミナー（WEB）再配信のお知らせ

視聴者の皆さまからのご要望に応え、
2022年度に配信したセミナーを改めてお届けします

場所に縛られず、くり返しご視聴いただけることで好評なWEB配信による「いのちのセミナー」。2022年度に配信したセミナーを、改めてご覧いただけます。初めてご覧になる方は自らを見つめる機会として、ご覧になったことのある方は再視聴により、新たな視点や、より深い理解を得る機会として是非ご覧ください。

1 配信期間 2025年3月21日（金）14:00 ～ 2025年6月30日（月）14:00

※「YouTube」による録画配信

2 講師

すがわら なおき

菅原 直樹 氏 劇作家・演出家・俳優／劇団「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰／介護福祉士

〈演題〉 「老いと演劇」 ～認知症の人と“いまここ”を楽しむ～

繋がりが近い方ほど「元にもどって欲しい」という気持ちが働き、認知症に伴う言動をつい正したくなりますが、正すのではなく、相手が見えている世界を受け入れ、尊重することが大切。“老い”に対して、いかに寄り添い、いかに生きるかを演劇を通じて考えます。「この世は舞台、人はみな俳優」。演技をする上で大切とされる「いまここをともに楽しむ精神」は、認知症介護のストレスを軽減し、自身の老いをより豊かなものへと変えていきます。みなさんも俳優になったつもりで老いを楽しんでみませんか？



ふじい りえ

藤井 理恵 氏 元 淀川キリスト教病院チャプレン（病院牧師）

〈演題〉 「たましいの安らぎ」 ～病院チャプレンのスピリチュアルケア～

誰もが心安らかに穏やかな日々を重ねたいと願っています。しかし思いがけないかたちで病氣や苦しみはやってきます。病院ではたましいの底から湧き上がる様々な問いが投げかけられます。「私の人生は何だったのか」「私に生きる意味はあるのですか」…不条理と思える現実を受けとめるには、どのような視点を持って人生を見つめればよいのでしょうか。病氣や死という厳しい現実の前に立ちついても豊かに生き抜いた方々から教えられたことを分かち合いながら、一緒に考えてみたいと思います。



さとう けい

佐藤 慧 氏 認定NPO法人Dialogue for People 代表／フォトジャーナリスト／ライター

〈演題〉 「グリーフを抱えて生きる」 ～世界の紛争地・被災地の現場から～

紛争や自然災害、様々な困難の中で、多くの人々がグリーフを抱えて生きています。「大切なもの」を失った心の空白と、人はどのように向き合っていくのか。悲しみを否定することなく、「抱えていく」ことを見守り、支えていくための社会の在り方を、各地の取材で頂いた声、そして東日本大震災で自らの家族を失った経験からお伝えします。



3 講演時間 各1時間程度

4 視聴方法 当財団ホームページ (<https://www.jrw-relief-f.or.jp/>) からご視聴ください。
※Wi-Fi環境など高速通信が可能な電波の良い所でご視聴ください。※ご視聴にかかる通信料はご負担ください。

5 主催等 主催／公益財団法人 JR西日本あんしん社会財団 協力／西日本旅客鉄道株式会社